

路面冠水試験路

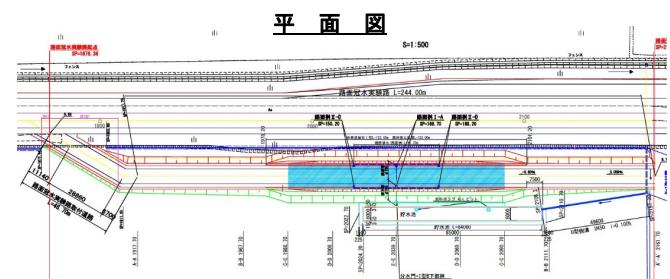
北海道において近年多発する融雪期の降雨による路面冠水や全国でみられる異常気象(ゲリラ豪雨・降雹等)に伴う路面冠水など、様々な要因で発生する路面冠水による車両水没事故や、交通遮断による障害などを目にする機会が多くなってきており、路面冠水状態における車両や運転に与える影響についての解明と、路面冠水検知技術および警告システムを検討するための試験路です。

全体概要



路面冠水試験路の仕様

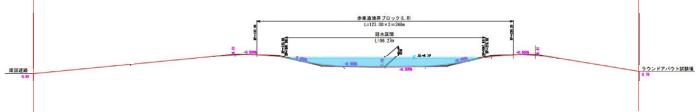
- 延長：300m
- 道路規格：第3種第2級相当
- 車線数：2車線道路
- 幅員構成：路肩1.5m+車道3.5m+3.5m+路肩1.5m = 10m
- 縦断勾配：最大5%
- 冠水深さ：0～80cmまでの水深を再現可能
- 貯水池：満水時275m³(冠水深さ50cmの水量を確保)



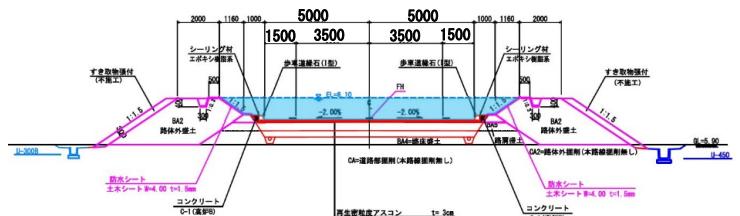
上空写真2



縦断図



定規図(冠水区間)



路面冠水路を用いた試験

路面冠水進入における水深と速度等その他条件の関係について「運転挙動」を実測し、近年多発する大雨時の道路管理について研究しています。



実験状況写真1



実験状況写真2